2026 年●月 吉日

小学 3 年生～中学 3 年生のお子様がいらっしゃる親御様

河内　浩美
帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科

子どもの性成熟への関わりにおいて親が抱く困りごとの実態調査への参加ご協力のお願い

私は、現在帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科に勤務し、子どもの性の困りごと支援のためのチャットボットによる相談システム構築に向けて研究しております。

近年、包括的なセクシャリティ教育やプレコンセプションケア等、性の健康に向けた健康教育がわが国でも取り入れられるようになってきました。その担い手として、お子さんの成長を身近で見守っている親御様の関わりが期待されています。しかしながら、多く親御様においては、お子さんと性について話をすることに自信がなかったり、戸惑いや困難さを感じたりしていることが明らかとなっています。

そこで、研究テーマ「子どもの性成熟への関わりにおいて親が抱く困りごとの実態」におけるアンケート調査への参加をお願いしたく、下記の項目について、概要を説明します。十分ご理解した上で、あなた様の自由意思により参加するか否かをお決めください。お聞きになりたいことがありましたら、いつでも質問にお答えします。

研究にご参加いただける場合は●月●日までにアンケートの始めのページにある「研究協力に同意する」にチェックを入れていただき、アンケートへご回答ください。なお、この研究は帝京平成大学人対象研究倫理委員会の審査を受け、学長より承認（承認番号：〇〇〇〇〇）を受けております。

記

１．研究組織

研究責任者：河内　浩美
所　属：帝京平成大学 ヒューマンケア学部看護学科
共同研究者（氏名、所属）
安達久美子　　東京都立大学 人間健康科学研究科
片岡　優華　　創価大学 看護学部看護学科
和田由紀子　　新潟青陵大学 看護学部看護学科
佐々木祐子　　新潟青陵大学 看護学部看護学科

２．研究の目的・意義

本研究は、お子さんの性成熟への関わりにおいて親御様がどのような困りごとをお持ちであるのかを明らかにすることを目的としています。これらのことが明らかにされることで、親御様が自信をもち家庭でお子さんの性成熟への関わりがもてるような支援を検討する際の一助になると考えいます。

なお、本研究において**「性」「性成熟」「子どもの性成熟への関わりにおいて親が抱く困りごと」**は、以下のことを指しています。

「性」

性とは、人の体、こころ、社会との関係性のすべてに関わる、とても広い意味をもっています。例えば、次のような要素を含んでいます。

体のことでは、生まれつきの体の特徴や、思春期になり体が変化することなどです。心のあり方では、自分自身を男性、女性、あるいはそれ以外の性別だと感じること（性自認）、そして誰かを好きになる気持ちや、どんな人に魅力を感じるか（性的指向）などです。そして、社会とのつながりでは、「男の子だから」「女の子だから」といった周りからの期待や、恋愛や結婚といった社会的な関係性などです。

「性成熟」

性ホルモンの分泌によって開始される二次性徴の発現や急激な身体の発育であり、月経の開始や精通の開始により生殖可能な状態となり、性的行動がとれるようになることです。また、その成熟は身体的側面のみではなく、特定の人への関心を持つようになるなど性意識や性行動が拡大するといった心理社会的な側面も含むものとします。

「子どもの性成熟への関わりにおいて親が抱く困りごと」

親が子どもの性成熟について気づいたり、把握したり、知ることや性について話したり、性教育をすること、また、子どもを個人としてとらえるといった、子どもとの関わりにおいて抱える心配ごと、困りごと、不安や悩みなど困難さといったネガティブな感情を抱くものとします。

3．研究期間・方法

1）研究期間

データ収集期間：倫理委員会承認および学長の許可後～2026 年●月 30 日

研究・分析期間：倫理委員会承認および学長の許可後～2028 年 3 月 31 日

2）研究方法

Web を用いた自記式質問によるアンケート調査です。アンケートは、調査会社（株式会社 Nico・Works 様）に業務委託し実施します。

対象者となる方は、現在小学校３年生から中学校３年生のお子さんがおられる親御様約 200 名（男性 100 名程度、女性 100 名程度、他若干名）にご協力していただく予定です。なお、募集予定の人数以上となりましたら、研究への参加をお断りさせていただく場合がございます。

データ収集は、研究対象者へ本書により説明を行い、参加してくださる方を募ります。

本研究の参加にご協力いただける場合は、「本研究への参加の同意のチェック欄」にチェックを入れ、アンケートのご回答にお進み下さい。アンケートの回答は１回であり、回答には●●分～●●分程度の時間を要します。

3）質問内容

（1）年齢、性別、就労状況、世帯収入、最終教育歴、配偶者/パートナーの有無、きょうだいの有無、子どもの人数、小学校３年生～中学校３年生で最も年齢が高い子どもの続柄・学年・健康状態・成長発達状況

（2）家族との関係（実親との話しやすさ、配偶者/パートナーと子どものことについての話しやすさ、子どもとの話しやすさ）

（3）自分の性に関すること

（4）ヘルスリテラシー

（5）子どもの性に関わること

（6）子どもの性成熟への関わりにおいて親が抱く困りごと：①子どもの性成熟（二次性徴・性に関する意識・性行動）を把握すること　②性について関わること　③子どもを個人としてとらえること

（7）自由記載

4. 研究対象者として選定された理由

本研究は、現在小学校 3 年生から中学校 3 年生のお子さんがおられ、日常生活に必要な日本語が理解できる方にご協力をお願いしております。

また、思春期の急速な身体の成長は、早くて 8 歳、遅くて 14 歳頃に始まり、男性は女性より 2 年遅れるとされています。また、性成熟が始まりは、乳房の膨らみや精巣や陰嚢が発育し始める 7 歳から 13 歳頃とされ、生殖能力をになう二次性徴の成熟（射精が可能や月経の開始）は、男性 11～17 歳、女性 9～16 歳とされています。これらより、この時期にあたる小学校 3 年生から中学校 3 年生のお子さんがおられる親御様を対象としております。

5. 研究対象者等に生じる負担ならびに予測されるリスク

研究参加の過程で、アンケートの回答に●●分～●●分程度の時間的拘束が生じます。また、Web により回答するため通信費が生じます。

この研究に参加することで健康被害などの有害事象が生じる可能性はないため、研究に伴う特別な補償はありません。

6. 研究参加によって生じる謝礼など利益

本研究への参加による直接的な利益はございません。

7. 研究により期待される利益

子どもの性成熟への関わりにおいて親が抱く困りごとの実態が明らかになることで、親御様が自信を持ち家庭で子どもの性成熟への関わりが持てるような支援を検討することでできるようになります。

8. 研究への参加協力について自由意思により決定すること

この研究への参加協力はあなたの自由な判断にて行っていただきます。アンケートの始めに参加同意のチェック欄にチェックを入れていただくことで本研究への参加に同意したことになります。2026 年●月●日以降、Web 調査会社より研究者へデータが納品される際は個人を特定できるデータが含まれていないため、同意を撤回することができません。

9. 研究に関する情報公開の方法および得られた結果等の扱い

本研究の成果は、看護学および助産学系の学術研究学会誌への論文投稿や学術研究集会にて公表する予定です。

10. 研究対象者の求めに応じた資料の入手や閲覧について

研究計画書及び研究方法に関する資料又は結果について、ご希望に応じ入手または閲覧することができます。ご希望の際は、下記の連絡先までご連絡ください。

11. 個人情報の取扱い

本研究では、あなたの名前や住所などの個人情報は必要としません。しかし、Web 調査会社がアンケートへの回答がおひとり 1 回のみであることを確認するためメールアドレス等をお伺いしますが、研究者にメールアドレスが共有されることはありません。また、アンケートでは生年月日を回答いただきますが、生年月日から換算された年齢として研究者へデータが納品されます。

アンケート結果は、それぞれに番号（識別番号と呼びます）を振って管理します。これを匿名化といいます。データ等の取り扱いにはこの識別番号を用い、この番号とあなたとを結びつける対応表は、作成しません。研究を発表する際にもあなたとは分からない形で発表します。また、本研究ではデータ等を、あなたのものとは分からない形で、共同研究機関にパスワードを設定した電子メールで提供させていただきます。共同研究機関名は「1. 研究組織」の欄をご参照ください。

12. 試料・情報の保管・破棄の方法

本研究に係る情報（研究に係わる文書及び研究データ等）は、研究責任者のもと、論文等の成果発表後 10 年間、研究責任者の研究室内および共同研究者の各研究室内の施錠可能な保管庫に保管します。また、保管期間終了後、紙媒体はシュレダーにて完全に破棄し、デジタルデータは復元不可能な状態でデータを完全に消去します。

13. 研究の資金源

本研究は、学術研究助成基金助成金（基盤研究（C）課題番号：24K05838）を受けた予算を用いて実施しています。

14. 利益相反

本研究の実施に際しては、特定の企業や団体からの資金援助は受けておりません。また、本研究の利益相反関係は、帝京平成大学利益相反委員会の審査を受け、「利益相反状態にない」との判定を得ています。

以上

研究への参加・協力に関してご質問やご意見がありましたら、下記までご連絡ください。

【連絡先】

氏　名：河内　浩美
所　属：帝京平成大学 ヒューマンケア学部看護学科
電　話：03-5860-4555（研究室直通）
Email：h.kawauchi@thu.ac.jp